

教職員各位

国立大学法人福岡教育大学長

櫻井 孝俊

## 福岡教育大学における省エネルギー・温室効果ガス削減等のための 実施計画について（重要通知）

地球温暖化問題は、人間社会と自然環境に関わる最重要課題であり、この解決に向けて、国、地方公共団体、事業者及び国民は一体となって、生活様式の見直しや資源・エネルギーを効率的に利用する努力をしなければならない。

国立大学法人においても、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」や「地球温暖化対策の推進に関する法律」等により、省エネルギー対策に関する基本方針を定めており、第4次国立大学法人等施設整備5か年計画（平成28年3月 文部科学大臣決定）においては、平成27年度を基準として、今後5年間でエネルギー消費原単位の5%以上削減が求められている。

このような情勢を鑑み、本学においても、教育研究活動及び大学運営において、省エネルギー対策、地球温暖化対策を学生と教職員が協同して推進し、もって持続可能な社会の発展に寄与することが重要であると考えている。

これらのことを踏まえ、「国立大学法人福岡教育大学エネルギー管理規程」第10条に基づき、省エネルギー、省資源及び廃棄物の排出削減など、地球環境の保全に係る目標及び実施計画を以下のとおり定める。

### 第Ⅰ 目標

福岡教育大学の主要4団地（赤間、西公園、久留米、小倉）の事業に伴うエネルギー・温室効果ガスとも、床面積あたりの消費量・排出量は前年度比1%減を努力目標とする。

### 第Ⅱ 対象期間等

本計画は、平成28年度～平成32年度までの期間を対象とし、実施状況、技術の進歩等を踏まえ、必要に応じ見直すものとする。

### 第Ⅲ 推進組織

推進組織は、「国立大学法人福岡教育大学エネルギー管理規程」第5条に定める省エネルギー推進組織とする。

## 第Ⅳ 取組

### 1) 省エネルギーに関する取組

#### ① 設備機器等におけるエネルギー節約（日常）

具 体 的 な 取 組	取組の中心となる推進者		
	教職員	学生	担当部署
・教室、事務室等の照明は、昼休み、残業時等不必要なものは消灯する	■	■	
・ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	■	■	
・パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定する	■	■	
・待機消費電力の節減に努める	■	■	
・エレベーターの使用を控え、階段を使用するよう努め、階段利用の2アップ3ダウンを励行する	■	■	
・空調の適温化（冷房28℃程度、暖房19℃程度）を徹底する	■	■	
・空調を必要な区域・時間に限定して使用する	■	■	

#### ② 設備機器等における適正管理

具 体 的 な 取 組	取組の中心となる推進者		
	教職員	学生	担当部署
・空調機については、フィルターを定期的に清掃する	■		■
・湯沸器の設定温度は可能な限り下げる	■		
・使用済み電気機械器具のフロン類は回収処理を徹底する			■
・フロン類使用の電気機械器具においては、漏洩の確認・点検調査を実施する			■

#### ③ 設備の入替・更新時及び施設の改修時に当たっての配慮

具 体 的 な 取 組	取組の中心となる推進者		
	教職員	学生	担当部署
・コピー機、パソコン等のOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入する			■
・高効率照明、LED照明等、照明機器の省エネルギー化を進める			■
・空調機については、エネルギー効率の高い機器を導入する			■
・受電用変圧器は電力損失の少ない機器を導入する			■
・屋根、壁、床等に断熱材を採用する			■

・断熱性能の高い複層ガラス、熱線吸収ガラス、熱線反射ガラス等の採用を推進する			■
・窓ガラス面に熱線反射フィルム設置を推進する			■
・昼間の太陽光や人の存在を感知し、必要時のみ点灯する設備を採用する			■
・あらかじめ設定された時刻や時間帯に、照明の箇所や照度等を自動制御するシステムを導入する			■
・ソーラー給湯システム、太陽光発電設備等を可能な限り導入する			■
・電気機械器具は代替物質を使用した非フロン系製品の選択・使用を徹底する			■

## 2) 省資源（紙の使用量削減）に関する取組

具 体 的 な 取 組	取組の中心となる推進者		
	教職員	学生	担当部署
・会議用資料や事務手続書類の簡素化に取り組む	■		■
・可能な限り両面印刷、両面コピーとする	■	■	
・コピー機の近くにリサイクルボックスを設置し、使用済み用紙の回収を徹底し裏紙を利用する	■	■	
・コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤り等のミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットする	■	■	
・使用済み封筒を再利用する	■		
・メール活用によるペーパーレス化を徹底する	■	■	

## 3) 節水に関する取組

具 体 的 な 取 組	取組の中心となる推進者		
	教職員	学生	担当部署
・こまめに止水するなど節水に心がける	■	■	
・節水型のトイレ器具を導入する			■
・トイレに「水流し音発生器」を取り付ける等、トイレ用水を節約する			■
・蛇口に節水こま（適量の水を流す機能を持つこま）を取り付ける			■
・止水栓を可能な限り絞る			■
・水道配管からの漏水を定期的に点検する			■

#### 4) 環境に配慮した物品の購入に関する取組

具 体 的 な 取 組	取組の中心となる推進者		
	教職員	学生	担当部署
・「環境物品等の調達を円滑にするための方針」による			■

#### 5) 廃棄物等の排出削減に関する取組

具 体 的 な 取 組	取組の中心となる推進者		
	教職員	学生	担当部署
・燃えるゴミ・生ゴミ発生量を抑制する	■	■	■
・新聞や定期刊行物等の購入を必要部数に限定することや、回覧利用方法の含め見直す	■		■
・新聞・雑誌・用紙類のリサイクル化を促進する	■	■	■
・缶、びん、ペットボトルのリサイクル化を促進する	■	■	■
・再使用可能物品の学内有効利用を促進する	■		■

#### 6) 意識の高揚等に関する取組

具 体 的 な 取 組	取組の中心となる推進者		
	教職員	学生	担当部署
・エネルギー使用量、省エネルギー効果等の「見える化」を促進する			■
・クールビズ、ウォームビズに率先して取り組む	■	■	■
・省エネポスター等により、教職員、学生の意識高揚を図る	■	■	■
・学生、教職員に対し、省エネルギー対策、地球温暖化対策に関する研修を計画的に行う			■
・学内広報誌、学内LAN等により、省エネルギー対策、地球温暖化対策に関する情報を提供する			■

(担当部署)

環境マネジメント課

電話0940-35-1322 (内線1322)

Email koue2cho@fukuoka-edu.ac.jp